

# 校長室のまどから

令和元年12月13日（金）



**命を救うために必要なことを学びました！**



昨日の5時間目に6年生が「命の授業」を行いました。これは、毎年、医師の鈴木先生や消防署の方からAEDの使い方や心肺蘇生の仕方、大切さを教えていただいている授業です。AEDは止まってしまった心臓に電気ショックを与えて動かすためのもので、現在では人が多く集まる場所に多く置かれています。命が助かるかどうかは、救急車が来るまでの10分ほどの間にどんな処置ができるかにかかっているようで、近くにいる私たちがAEDを使えることが大切だと教えていただきました。この日の体験は この先どこかできっと役立つときがあるはずです。